

筑北三村地域自立支援協議会 部会・プロジェクト議事録

部会・プロジェクト名 第2回共生部会	開催日:令和7年9月24日(水) 時間:14:00~16:100 場所:生坂村健康管理センター指導室
参加者・構成機関名 (7名参加)	
生坂村健康福祉課(部会長竹内) 筑北村総合相談支援センター(清水) 麻績村住民課(西村) キノネアク相談所(小泊) ふあーすとステーション追分(矢花) 事務局(藤澤)	
講師:長野県社会福祉協議会 平塚直也氏	
次第	
①. 学習会 地域共生社会の実現に向けた「にも包括」について学ぶ	
次回予定 令和8年2月20日(金) 14:00~	

報告事項

移動支援プロジェクト進捗状況

会議内容

①. 学習会

地域共生社会の実現にむけた「にも包括」について学ぶ

講師:長野県社会福祉協議会 総務企画部 企画グループ 平塚直也 氏

①学習会 (配布資料あり)

- 1) 「にも包括」の概要、相談先や精神疾患者数の推移
- 2) 重層的支援体制整備事業と県内の取組状況
- 3) 筑北三村の地域の資源、強みと取組のポイント

②意見交換

- ・緊急対応で精神科病院に入院できず困ったことがあった。
→紹介状の有無や夜間時の医療機関との連携、三村の医療機関の状況、往診や24時間対応等の共有。
- ・相談員がついていれば退院後の生活を考える会議はあるが、会議等も無く地域に帰る場合、近隣の不安や障がいの偏見、理解不足がある。普及啓発を進める必要があるのではないか。
→事例を通した当事者の視点や精神障がいの理解の機会として民生委員や誰でも来て良い勉強会、サロン、地域のイベント等で普及活動を行う。
- ・体調が増悪しないように日々の悩みの傾聴や終末期ケア、グリーフケアについて考える。
- ・文化は変化している。普及啓発の機会を設け参加しやすくすることや、繰り返し行うと良い。
- ・人生の最期を考えることや自分の事、家族、周りの人のことを考えるたり決めると役割分担などができる。家や土地があることで聞きやすい。

③地域課題

- ・障がいの理解、普及啓発活動の機会づくり。
→興味関心のある人以外にも参加等ができる、中学卒業までに勉強する機会があるとよい。
- ・心の病気になった時の相談先の周知。
- ・緊急時の取り組みをすることで平時の取り組みが出来る。かかりつけ医と救急医との連携ができる広域連携の体制整備の検討。